

登録コード	HS610200	開講年度	2026					
授業題目	サステナブル建築学特論				担当教員	高村 秀紀 他		
英文授業名	Advanced Lectures on Sustainable Architecture				副担当	柳瀬 亮太・中谷 岳史・南 健斗		
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	博士課程の学生
				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)			
	2026HS加, 2025HS加, 2024HS加, 2023HS加							
	【専攻】理工学系の専門分野における深い知識・卓越した技能				査読付き論文が執筆できるようになる			
	【専攻】理工学系分野における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				困難である社会課題に対して根拠に基づいた対策案が立案できるようになる。			
	【専攻】理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				実務で示されている設計手法や計算根拠に対する問題点を明らかにし、改善方法を具体的に提案できるようになる。			
(2)詳細 /Detailed information	建築物の資材製造時、建設時、運用時、解体時の各段階において地球環境への負荷を少なくする建築物について専門的知見から設計する技術を習得する。							
(3)授業の概要 /Overview of course	地球環境への負荷を少なくする建築物は持続可能な循環型社会になくてはならないものである。本講義では、建築物の資材製造時、建設時、運用時、解体時の各段階において地球環境への負荷を少なくする技術について講義する。また、建築物の長寿命化に関する技術について講義する。							
(4)授業計画 /Course plan	第1週：ガイダンス 第2週：わが国におけるCO2排出量の現状 第3週：わが国における資材製造から建設時までのCO2排出量削減対策について 第4週：わが国における運用時のCO2排出量削減対策について 第5週：わが国における解体時のCO2排出量削減対策について 第6週：諸外国における資材製造から建設時までのCO2排出量削減対策について 第7週：諸外国における運用時のCO2排出量削減対策について 第8週：諸外国における解体時のCO2排出量削減対策について 第9週から第15週：各自のレポートにもとづく討論 課題は当該講義の翌週の講義開始時に提出する。							
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	レポート内容及び討論時の発言内容により評価する。							
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria	講義で提示した範囲の情報に基づくレポート内容の場合は「水準にある」、講義で提示した範囲外を公開情報に基づいたレポート内容の場合は「やや上にある」、関連企業や行政などに直接ヒアリングした情報に基づいたレポートの場合は「かなり上にある」、自身でのヒアリングに加えて海外の情報も加えた内容のレポートの場合は「卓越している」							
(7)事前事後学習 の内容/Prep and review work	事前学習として講義に関する関連情報を集約して自分なりの考えをまとめる。事後学習は講義内容を踏まえて更なる関連情報を取集しまとめる。							
(8)履修上の注意 /Notes	特になし。							
(9)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	講義時間中に受け付ける。							
(10)授業の形式 /Course format	討論を含む双方向形式							
【教科書 /Textbook(s)】	指定しない							
【参考書 /Reference work(s)】	指定しない							